人口減少対策に重点

子育て世代住宅を整備

施設整備で大型化

28年度予算 総額123億円

3月定例会議

3月定例会議は、3月4日から15日までの12日間の日程で行われました。

冒頭、鈴木町長が施政方針を、次に千葉教育委員長が教育行政方針の演述を行いました。

町長から提出された議案は、28年度一般会計予算や町総合計画基本構想の認定など25件で、すべて全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。

一般質問では4名の議員が登壇し、町の対応や考えをただしました。

わらべうた遊びを楽しむ、子育て　サークル「なないろ☆きらきら」の親子ら

葛巻だからできる施策で人口減少問題に挑む

町　長
施政方針
（要約）

町は、人口減少問題を解決するための取り組みに努めてきましたが、今後、さらに厳しい状況が予想されるため、「葛巻らしい」「葛巻だからできる」取り組みで果敢に人口減少問題に挑みます。

この、人口減少問題の解決に向け、移住・定住対策を専任的に取り組む部署を新たに設置し、今まで以上に積極的な施策展開を目指します。

ハード事業では、葛巻病院改築工事の継続のほか、子育て世代定住促進住宅の整備、いわて国体に向けた総合運動公園野球場整備などを進めます。

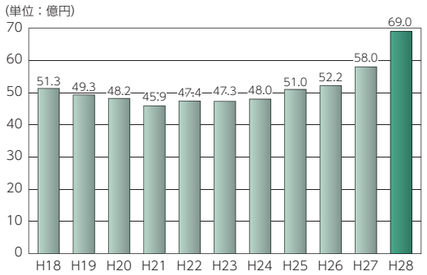
ソフト面では、葛巻高校山村留学事業の継続のほか、若者定住推進家賃助成、輸入受精卵移植推進事業など、新たな取り組みを行います。

今後も、町が持つ地域資源を最大限に活用し、次世代を生きる町民へ新たな歴史と明るい未来を贈り届けるために、町民が一体となった取り組みを続けます。

一般会計

28度の一般会計当初予算は、68億9623万円で前年度に比べて10億9457万円、18・9％増加しました。

一般会計当初予算額の推移



歳入は、全体の約4割を占める地方交付税が28億7000万円で、前年度に比べて1億4000万円、4・7％減少しました。27年度に実施した国勢調査で町の人口が減少したことにより、交付額の減少が見込まれます。

一方で、町税が4億6861万円で、前年度に比べて486万円、1％増加しました。

町税などの自主財源の割合は20・5％で、地方交付税などの依存財源に頼る財政構造です。引き続き自主財源の確保に努める必要があります。

歳出は、子育て世代定住促進住宅の整備、養護老人ホーム葛葉荘の改築、グリーンテージの浴室改修、国体に備えた総合運動公園野球場の改修などのハード事業により、**投資的経費（※）**が前年度に比べて5億3113万円、42・5％増加しました。施設整備を進める、大型予算の編成です。

公債費（借金の返済額）は前年度に比べて4491万円、7％の減少です。

一般会計予算の詳しい内訳は、3～4ページをご覧ください。

（※）投資的経費
施設建設など将来残るものにかかるお金

特別会計

5つの特別会計の当初予算総額は、54億2556万円で前年度に比べて22億4314万円、70・5％増加しました。

昨年に引き続き、葛巻病院の改築と江刈簡易水道整備事業を進めます。

各会計の予算額は、左の表のとおりです。

特別会計当初予算額

会計名	予算額	前年度対比
国民健康保険事業	12億4124万円	△1.6%
簡易水道事業	6億9551万円	16.7%
農業集落排水事業	1億9710万円	1.4%
後期高齢者医療事業	6908万円	△2.0%
国保葛巻病院事業	32億2263万円	204.0%
合計	54億2556万円	70.5%

※病院事業会計は、収益的収支の収入額と、資本的収支の支出額を合算した額